



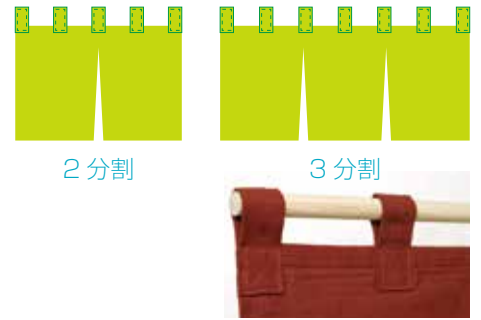
暖簾=のれん

のれん Q&A

Part 3

Q.1 のれん棒を通すチチ紐の数とピッチ寸法に決まりはありますか？

A.1 特に決まりはございませんが、通常のにれんの両端と割れ目（生地を繋ぐ部分）の上、加えて前述の空いたスペースに均等に配置することが多いです。例えば幅 90 cm の 2 分割のにれんですと、チチの数は 5 個というのが一般的です。一幅の大きさや丈（高さ）とのバランスも重要で、丈が大きくなると生地によってはのにれんの重量も重くなりますので、チチの数を増やしてピッチ間隔を短くする場合もあります。また、両サイドに 2 個ずつチチを縫い付けて強化することもあります。



Q.2 のれんが風で暴れます・・・少しでも抑える方法がありますか？

A.2 のれんの裾の折り返し部分にカーテンウエイトやチェーンウエイト等を幅の長さ分沿わして縫い付ければ、重石の役割をなしますので、暴れるのを軽減することが出来ます。但しあまり重い物を入れますと、人が出入りする時に身体に当たって痛みを感じるかもしれません。適度な重さのウエイトを入れることが大切です。

Q.3 日除け幕（懸垂幕）を屋外で使用したいのですが、風雨の影響が心配です・・・。

A.3 付加加工として撥水加工を施すことが出来ます。水の浸透を防ぎますのでのにれんを守る効果があります。但し洗濯をされますと撥水の効果も徐々に落ちていきますのでご注意ください。また、幕の四隅或いは二隅にレザー生地ベースの布地を挟み込んで補強する加工も出来ます。詳しくは担当者までご相談下さい。



Q.4 壁面にのにれんを取付したいのですが、何か良い方法がありますか？

A.4 マジックテープ（ベルクロ）をのにれんに縫い付ける方法がございます。弊社では通常メス方をのにれんに縫い付けてオス方を添付致します。他にのにれん棒が固定されているケースや幅の長いのにれんで取り外しが簡単に出来るよう、棒を通す袋の中でマジックテープを縫い付けて、脱着出来る方法もあります。

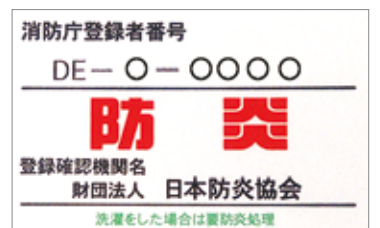
Q.5 のれんに紐を付けることは出来ますか？

A.5 はい出来ます。のにれんをしっかり固定したい時に紐で縛ることで解決出来ます。お困りごとがございましたら、担当者までご相談下さい。



Q.6 難燃品の防災のにれんの取扱いはありますか？

A.6 取扱いはございませんが、弊社では生地から防火加工を施す、後防火加工が出来ます。後加工ですので、カーテンのように布製の防火ラベルを縫い付けするタイプではなく、防火シールを貼り付けてお渡し致します。



Q.7 洗濯しても防火性能は落ちませんか？

A.7 洗濯されますと防火性能は落ちてしまいます。消防検査等で防火性能が必要な場合は、再度防火加工を施す必要があります。

Q.8 のれん受けの取扱いはありますか？

A.8 スチール製の正面付けタイプと枠内付けタイプの 2 種類をご用意しております。詳しい資料は担当者までお問い合わせ下さい。



●ちょっと豆知識

室町時代から江戸時代にかけてのにれんの色を見ると、その店の商いの業種が分かるようになっていました。

「白色・・・お菓子屋・薬屋」「紺・藍色・・・呉服屋・酒屋」「柿色・・・遊女屋・高級料亭」「茶色・・・煙草商・種苗商」

例えば白色のお菓子屋は「砂糖」を、紺・藍色の呉服屋は「手堅い商売」や「虫よけ効果」をイメージしていると言われていました。また、紫色は本来高貴な人だけに許された色で、庶民にとっては「禁色」と言って、のにれんには決して用いてはならない色だったそうです。面白いですね。

www.the.kyoto.jp

一宮株式会社

〒615-8174 京都市西京区榎原中垣外7-1
TEL075-394-7011(代) FAX075-394-7022